

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	経済学部	現代ビジネス	学科 専攻
派遣先大学 (国)	クラウスタール工科大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	BWL		
報告書提出日	2019年4月19日		
留学予定期間	2019年3月～2020年2月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 250 (ユーロ) /合計

航空券代： 180000 (円) /合計

ビザ申請関連費： (通貨入力) /合計

その他 (): (通貨入力) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ (通貨入力) /合計

10月の合格発表から程なくして、受入れ許可書が届きました。その後すぐに寮の申し込みフォームより手続きを始めたが、寮が決定したのは2月半でした。航空券は12月に予約したが、直前で搭乗予定の便がキャンセルされ、変更されました。それにより成田空港からハノーファー空港まで乗り換えが2回必要になりました。ビザについては、ドイツへ渡航後に取得するので、日本では各種書類の準備だけをしていました。

1.2. 渡航について

当初の計画では、ハノーファー到着が夜になる予定だったので、そこで一泊してからクラウスタールの向かう予定でした。しかし途中のブリュッセルからフランクフルトへの便が大幅に遅延したことにより、フランクフルトからハノーファーの便に乗れずフランクフルトで一泊する羽目となりました。代替便、宿泊費や交通費、食事代などはすべて航空会社が負担してくれたのですが、計算外のことだったのでかなり不安でした。ハノーファーに着いてからは電車とバスでハノーファーまで向かいました。事前にルートを確認していたのでスムーズに向うことが出来ました。チケットは当日購入しました。クローネンプラッツというバス停で降り、そこで現地の人と待ち合わせをして寮に向かいました。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

寮の事務所に行き、身分証明や備品等の説明を受けた後、諸々の書類と鍵を渡されました。マットレスなどを買う予定だったのですが、私の寮は初期費用にマットレス代が含まれていたらしく、買わずに済みました。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

寮で鍵をもらう際に、一緒に住居証明書をもらい、それを持って役所へ行き居住証明書と Tax ID というものを受け取ります。役所の開閉時間はすごく短いので注意が必要でした。VISA はまだ手続きをしていません。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

オリエンテーションは、学部のもつと留学生用のものの両方に出席しましたが、学部のもつは全てドイツ語だったので何も理解することはできませんでした。学生登録については、日本にいた時にもらった書類に必要なものが書いてあったので、それを準備して大学の国際センターへ行き、スムーズに手続きできました。国際センターの人は英語が話せる上に、とても親身に説明してくれるので、分からないことがあつてもここで臆せずに質問すべきだと思いました。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

異文化を理解したいというのが、留学のきっかけでした。それには異文化に対する期待があつたのだと思います。しかしその期待通りであることもありますが、そうでないこともあることを知りました。ですので、自分の苦手な部分も含めてその文化を理解すること、そして英語能力の向上が目標です。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

留学が決まって以降、積極的に English lounge に通っていました。そこである程度の自信をつけていたのですが、現地に来て、一日中英語またはドイツ語で生活することの大変さを知りました。また、専門の科目を英語で受ける大変さも理解しました。

3.3. 今月の学習・研修目標

私の寮はキッチン、トイレ、バスルームが共有ですので、英語を話す機会がたくさんあります。この良い環境を活かして学校以外の場所でも英語能力を向上させ、ハウスメイトとストレスなく会話できるようになる事が最初の目標です。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	General English B2
火	English Refresher, Deutsch A 1.1
水	Economic Geology
木	Deutsch A 1.1, Basketball
金	Intercultural Competence
土	
日	Basketball

4.2. 授業について

General English B2 一般的な英語の授業です。B2を目指す人たちが受ける授業です。セメスターの初めにプレースメントテストがありそのテストで一定以上の点数を出さないと、履修できません。

English Refresher 一般的な英語の授業です。記事を読んでその内容について議論するのが主な流れです。

Deutsch A 1.1 ドイツ語の初歩です。知識が初歩の状態でも参加可能です。

Economic Geology 経済の専門科目です。専門用語がたくさん出てくるのでかなり大変です。

Basketball バスケットボールのクラスです。基本的のドイツ語での説明ですので周りを見て内容を判断せざるおえず、大変にも感じますが、ストレス発散ができます。

Intercultural Competence 少数のグループに分かれて、議論したりプレゼンしたりします。周りの人の英語のレベルが高くついていくのがかなり大変です。

4.3. 予習・復習・自習について

General English B2 今のところ課題は出ていませんが、復習は自主的に行なっています。

English Refresher B2 と内容が似ていますが、レベルはそれよりも低いです。ですので B2 の勉強がこの授業の復習にもなっています。

Deutsch A 1.1 毎回課題が出ますが、量はそんなに多くなく難易度も授業内で網羅されているので苦ではないです。

Economic Geology 授業だけではついていけないので、復習は必須です。レジユメがあるのでそれを使っています。

Intercultural Competence 大きなプレゼンが用意されているのでそれに応じて準備が必要です。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
現地到着後、Wi-Fiが使えるようになるまではとても大変でした。また私の寮はシェアハウスのような感じなので、寮のみんなでどこかへ行ったり、スポーツをしたりと、とても楽しく充実しています。	

5.2. 課外活動について

体育の授業でバスケットを取っている他、放課後はバスケットが好きなフランス人とよくバスケットをして遊んでいます。また、クラウスタールはとても田舎なので、買い物などをする場所はそんなに多くありません。ですので、スポーツや、BBQなどの外でやるアクティビティがメインとなっています。

5.3. 現在までの感想

とにかく、とても良い寮に入れたと思っています。食事を一人で食べることはほとんどありませんし、休みの日であっても英語で会話する機会が嫌という程あるので、常に学べる環境です。そんな環境ですので、友達も自然とできますし、毎日楽しく過ごせています。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (6月)

所属	経済学部	現代ビジネス	学科 専攻
派遣先大学 (国)	クラウスタール工科大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	BWL		
報告書提出日	2019年6月9日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

一つ、細かい描写を含めた英会話ができるようになること。二つ、ドイツ語で注文や道を聞くなどの簡単なレベルの会話ができるようになること。三つ、ヨーロッパ人の考え方や価値観の違いに触れて、自分なりに理解すること。当初は興味がなかったが、また帰国後の活動のために TOEFL の勉強も加える。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

寮の環境が良いため、英会話をする時間は毎日十分にある。その反面、机に向かって勉強する時間は少し足りていなかったように思う。ドイツ語は授業ない以外ではほぼ使う機会がないため、自発的に求めていかなければいけないように思う。異文化理解に関しては順調だと感じている。同時に日本人が極めて少なく毎日外国人と共同の空間での生活は、文化の違いから難しい面もある。

1.3. 今月の学習・研修目標

英語を話せば話すほど、自分の英語力に不満が募る。だから今月も積極的に英会話の時間は設けたい。その上で机で勉強する時間も作らなければならない。ドイツに来てから二ヶ月以上が経ち、良くも悪くも慣れてきてしまっているため、今一度気を引き締め直したい。

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	General English Intermediate / Upper Intermediate (B2) 13:00-16:00
火	English Refresher 9:45-12:45 , Deutsch A 1.1 13:30-16:00
水	Economic Geology 17:00-19:00
木	Deutsch A 1.1 13:00-15:30 , Basketball Fortgeschritten 18:00-19:30
金	
土	

2.2. 授業について

General English は、毎授業毎に内容が違うがとにかく話す機会を多く設けられているように思う。課題は多くないが、授業内で分からない単語がたくさん出てくるので、授業外に調べる時間が必要である。English Refresher も同じような流れであるが、上記のものより少し優しいレベルである。プレゼンテーションする機会が多い。

Economic Geology は専門の授業である。授業はすべて英語で行われるので問題はないが、内容がかなり難しい。課題は特にないが、予習復習は必須。

Deutsch A 1.1 はドイツ語の初級であり、誰でも履修できる。毎回課題が出されるが寮はそんなに多くなく復習を兼ねているため良い。

Basketball の二つの授業は、レベルが高くかなり本格的である。留学生はほとんどおらず、大部分はドイツ語で行われる。コーチはおそらく私だけのために時折英語での説明をしてくれる。しかしドイツ人の生徒は英語が話せるので、分からないことがあれば誰にでも質問できる。

2.3. 予習・復習・自習について

General English は課題はほぼ無いが、稀にあり、メールで提出する。予習を自主的に行わなければクラスで恥ずかしい思いをする。

English Refresher も課題はほとんど無い。その代わりに自主的な復習が必須。

Deutsch A 1.1 は毎回課題が出される。量が多く無いため復習にはこれだけでは不十分。課題に加えて復習する必要がある。

Economic Geology は課題はない。復習と言っても教科書や参考書があるわけではないため難しい。授業内の PowerPoint のキーポイントを書き取り、読み返している。

2.4. 語学力について

知識的な部分は分からないが、確実に会話能力は向上しているように思う。一対一で話していても静まり返ることはない。しかし、話せば話すほどもっと詳しく説明したいと思うが、深掘りして説明する能力はまだない。私が住んでいるのは共同の寮であるため、英会話の機会には困らない。時間がある時はご飯を一緒に食べに行ったり、サイクリングや買い物をしたり、常に英語を使っている環境である。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居※	学内寮（その他： ）
-----	-----------------------

寒い時期が長く 5 月の頭にも雪が降ったほどであり、厚手の上着は必須だった。食に関しては、外食できる店が頻繁に行ける距離にはあまりないので自炊しなければならない。日本米などは当然ないため食生活は自ずと変わる。週末にはハウスメイトたちがリビングでパーティーをするのだが、これが朝方まで続くこともあり、自分の部屋がリビングから近いこともあって多少のノイズがある。自分は神経質なため寝付けないこともある。

街の治安はとても良いように思う。

3.2. 課外活動について

先日自転車を購入し、行動範囲が広がった。ハウスメイトはある種家族のような存在であり、休みの日にはほぼ間違いなくサッカーをしに行ったり、サイクリングや何かしらがある。今月はハウスメイトとの旅行の予定もあり楽しみである。

3.3. 現在までの感想

とにかく、この寮に入れたことがとても大きいです。共同生活というのは始まる前は不安でしたが、友達も多く出来て、英語を話す機会もつねにあります。ここまでの二ヶ月は驚くほどあっという間に過ぎ、充実しているのだなあと実感しています。おそらくあっという間に帰国の日を迎えてしまうと思うので、一日一日を無駄にしないように生活しようと思います。

まだ二ヶ月しか滞在していませんが、すでに自分の可能性がどんどん広がっている感覚があります。今はとにかくこの恵まれた環境を上手に生かして自分を磨ければと思っています。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (12月)

所属	経済学部	現代ビジネス	学科 専攻
派遣先大学 (国)	クラウスタール工科大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	BWL		
報告書提出日	2019年12月14日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

英語でのスムーズな会話、細かい内容を含む会話、ネイティブスピーカーと問題なく会話を成立させること。またビジネス会議などで通用する英語能力を身につけること。またドイツ語での日常会話、レストランなどでの注文、標札などの理解。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

11月より本格的に今学期の授業が始まり、心身ともに気を引き締めなければならない。今季の授業では昨季よりも難易度を上げたため、より自身での学習が求められる。英語能力に関しては、渡独直後から大幅な成長を感じている。ドイツ語に関してもまだスムーズな会話は出来ないが、注文や簡単な質問ならできるようになってきている。

1.3. 今月の学習・研修目標

12月はホリデーシーズンのためあまり授業がないが、休みの期間であっても継続的に勉強する環境は維持していきたいと思う。クラウスタールはかなり寒くなっているので体調管理もしっかりと行わなければならない。クラウスタールでの生活も残り少なくなっているため、時間を大切にしていきたいと思う。

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	後学期
月	Wirtschaftsenglisch (15:00-17:00)
火	Deutsch A 1.2 (13:30-16:00)
水	English for International Commrerce - TOEIC Prepartetion (16:30-19:00)
木	Deutsch A 1.2 (13:30-16:00), English Conversation (18:00-19:30)
金	7 (Deadly) Skills in English (9:00-12:00)
土	

日	
---	--

2.2. 授業について

Wirtschaftsenglisch はビジネス英語であり、メールの書き方、会議の進行、ビジネス用語などを学ぶ。Deutsch A 1.2 はドイツ語の初級にあたる科目であり、ドイツ語全般を学習する。

English for International Commerce - TOEIC Preparation では TOEIC 対策を行う。毎授業で2セッションずつ行われる。

English Conversation は英会話であり、会話を重点的に行う。グループワークなどでプレゼンがある。7 (Deadly) Skills in English では7つの重要な英語スキルを学ぶ。初歩的な部分から発展の部分までカバーされている。

2.3. 予習・復習・自習について

Wirtschaftsenglisch では知らない単語がたくさん出てくるので、ノートに書き留めてから自宅で復習を行なっている。

Deutsch A 1.2 では授業内で出される課題と、大学のウェブサイト上で復習をしている。

English for International Commerce - TOEIC Preparation では問題を持ち帰れるので、それを元に復習する。

English Conversation 課題はない。稀に知らない単語が出てくるためそれを書き留めるようにしている。

7 (Deadly) Skills in English は課題はなく、資料や板書したノートから復習を行なっている。

2.4. 語学力について

語学力は確実に向上している。寮の環境から毎日英語を話せるというのが大きい。英語での会話はかなり細かな部分まで話せるようになってきているように思うが、日本語訛りがかなり強い。少しでも上手な発音が出来るように意識して会話していこうと思う。ドイツ語に関しても向上しているように感じている。店での注文などは出来るが、予想外の質問などがくると全く聞き取れない。ドイツ語での会話の機会はあまりないので積極的に探さなければいけない。また、帰国後語学力の維持または向上をできる環境についても考え始める必要がある。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居※	学内寮（その他： ）
-----	-------------------

最近日本食がとても恋しい。パスタやピザなどのヨーロッパ食に対して飽き始めてきているので少し苦しい。また予想していたよりも寒く、しっかりと防寒をしなければ体調に響きそうで心配である。今学期の寮のメンバーも揃ったが、昨季とは真逆のような雰囲気ですべて順応するのに気疲れしている。しかし残りの期間も長くないので、楽しめるように工夫していきたいと思う。

3.2. 課外活動について

今学期は高頻度でバスケットチームの練習に参加している。先週には大会もあり充実している。雪がつもり

始め、外でのアクティビティが難しくなってきたので建物の中で出来るバスケットは自分にとってかなり大きいストレス発散となっている。今月はクリスマスなどのホリデーシーズンで休みが多いので、上手に時間を使いたいと思う。またクラウスタールでもたくさん友達が出来たので、帰国までに何か思い出を作れればと思っている。

3.3. 現在までの感想

渡独して早9か月が経ち、非常に充実した日々を過ごせている。日本人が少ない環境のおかげで語学力の向上も実感することができ、ここまではとても満足感のある留学生活だと言える。残りが3か月を切り、どうやって留学生生活を終えるか考え始めている。帰国後はすぐ就職活動などもあり忙しくなるが、気持ちよく留学生生活を終えスムーズに次に動けるような準備をこれからの3か月で行わなければならない。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	経済学部	学科	現代ビジネス学科	4	年次
派遣先大学 (国)	クラウスタール工科大学 (ドイツ)				
所属プログラム・ 学部・研究科	BWL	履修言語	英語		
留学期間	2019年3月～2020年2月				
報告書提出日	2020年3月2日				

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Summer Semester	4月8日 ～7月31日 (15週)	8月8日 ～9月30日	履修前に語学力を測るテストがあり、スコア次第では特定の科目を履修できなくなる。大学のウェブサイトより登録を行う。そのサイト内に授業についての詳細は全て書かれている。人数制限がある科目では先着順となる。授業が始まっても履修科目の追加変更等はできる。
Winter Semester	10月8日 ～1月31日 (15週)	2月8日 ～3月31日	夏学期と同様であるが、語学のクラスをパスしていれば、語学力測定のテストをスキップ出来る。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
SS	Deutsch A 1.1	75時間	毎週火曜日と木曜に150分の授業があり、基礎レベルのドイツ語の科目である。読む、書く、話す、聞くの全てを学習する。試験対策としては復習と単語の暗記を主に行った。
		2.5(時間/回) × 2(回/週) × 15(週)	
WS	Deutsch A 1.2	75時間	毎週火曜日と木曜に150分の授業があり、基礎レベルのドイツ語の科目である。読む、書く、話す、聞くの全てを学習する。試験対策としては復習と単語の暗記を主
		2.5(時間/回) × 2(回/週)	

		× 15(週)	に行った。
SS	English Refresher	39 時間	毎週火曜日に3時間授業がある。内容は B1 レベルの英語学習で、海外の新聞記事などからディスカッションを行い授業が進行されていく。プレゼンテーションと期末試験で最終評価が決まる。テスト対策として私は海外のニュース記事を読んだ。
		3(時間/回)	
		× 1(回/週) × 13(週)	
SS	General English Intermediate / Upper Intermediate (B2)	36 時間	毎週月曜日に3時間授業がある。内容は B2 レベルの英語学習だが、グループワークが主である。グループ、または個人でのプレゼンテーションが頻繁にあり、それらは成績として反映される。
		3(時間/回)	
		× 1(回/週) × 12(週)	
WS	Wirtschaftsenglisch	26 時間	3つの時間帯が用意されており、自分に合う時間帯を決めて履修登録できる。ビジネス英語のクラスであり、専門用語などが多数出てくる。参加型の講義形式であり、クラスの雰囲気はかなり良い。試験対策は配布される模擬試験を用いて行った。
		2(時間/回)	
		× 1(回/週) × 13(週)	
WS	English Conversation	19.5 時間	名前の通り、英会話のコースである。毎回違うトピックが与えられ、グループで話し合ったのち、各グループごとの結論を他グループに向けて発表する。
		1.5(時間/回)	
		× 1(回/週) × 13(週)	
WS	7 (Deadly) Skills in English	21 時間	英語のメールや面接、会議進行などのスキルを学ぶコースである。1回の授業で1スキルを学べるので自分の希望する回だけ出席すれば良い。試験などはなく、自分の能力向上のためのコースである。
		3(時間/回)	
		× 1(回/週) × 7(週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

何よりも心がけていたことは、消極的にならないことである。自分が外の世界について何も知らないことや自分の英語レベルが他国からの留学生よりも劣っていることは初めから分かっていたので、恥を捨ててわからないことは全て聞いた。わからないまま次に進んでしまうと、それが原因でまた次の何かかわからなくなるため、積極的に質問を繰り返したことは良かった。自分は予習はしないのでわからないが、復習については困ることはない。基本的には課題が毎回与えられるし、大学のウェブサイトでE-ラーニングも可能であり、相当な量があるので常に勉強可能である。

1.4. 語学力について

英語に関しては、自分でも驚くほどに成長したと言える。20人での共同生活で日本語が全くない環境であったため、英語を使う環境はかなり整っていた。渡独当時は、会話もままならなかったが、帰国時にはどれだけでも話していただけるようになった。しかし未だに知らない単語は多く、これからも勉強

を続けていく必要がある。ドイツ語はほぼゼロの状態から留学が始まったが、帰国時には店での注文、挨拶、ちょっとした会話は出来るようになっていた。1年かけて基礎が出来てきたため、これからの勉強で倍速的に成長すると考えている。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

学修の成果を思い浮かべてやはり初めに出てくるのは語学力である。渡航前の目標であった英語のレベルには到達することが出来た。やはり環境に恵まれていたことがすごく大きな要因であるが、積極性を意識し続けたことも大きい。もちろん初めは言語能力の低さゆえに恥ずかしい思いもたくさんしたが、自分の目標を見失わずにトライしてきた甲斐が留学生活終盤で目に見える結果として現れてきた。また、ドイツ語に関しても大きく成長できたと言える。まだドイツ語を話せると胸を張って言えるレベルではないが、渡航前と比較すれば大きく成長したと言える。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

私は渡航前に何も語学の対策をしていなかったため留学初期は苦勞した。今となっては思い出だが、当時は本当に辛く、部屋に引きこもりたような日もあった。それでも貴重な時間を無駄には出来なかったため、寮のコミュニティスペースへ重い腰を動かし、ただただ恥ずかしい思いをし続ける日が初めの方は続いた。もちろん苦しいことを乗り越えることで得られるものもあるが、留学初期段階ではただでさえストレスが多いため。避けられるストレスは避けるべきだと考える。したがって、留学前に可能な限りの語学力の用意をするべきであったと思う。

2.3. 留学生活で得られたもの

留学前も何度も文化の違いについての話を聞いたり、勉強もしていったが、いざ自分が異文化に飛び込み肌で触れることから直に学ぶ異文化は凄まじかった。結果として目に見えてくる違いなどは氷山の一角に過ぎず、すべての行動や言動には各々の文化が根底にあるということに気づくと、その膨大さにあっけにとられた。また、この12ヶ月の留学生活でたくさんの友達を得ることも出来た。この友人たちに私の留学生活は救われたと言ってもいいだろう。世界中に友達がいるということは、いつか自分の人生で大きく意味を成すと思う。異文化を知り、その文化の中で育った人たちと時間を過ごし、私の視野は広がった。というよりも今まで見えていなかったものが見えるようになった。本当に多くのことを知り、学んだ12ヶ月であった。この経験を大きなステップとして次に進まねばならない。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

とにかく現地で友達を作り、その人たちと多くの時間を過ごしたことが私の留学生活で一番の記憶である。その時間から得られるものは決してお金では買えないし、机に向き合う勉強からも得られない。自分の留学からしか得られないものや、経験できないことをたくさんするべきである。私はラッキーなことに、日本人と日本語がほぼ全く無い環境であったため。文化を学びつつ、同時に語学力を上げることにもつながった。外国人の友人たちと多くの時間を過ごすことが自分の自信にもつながった。渡航直後から積極的にトライし続けてきた自分の努力が間違っていなかったのだと思えたことは、次へのモ

チベーションとなり、これが良いサイクルを生んだ。頑張ることが楽しい、努力することに気持ち良いと思う得ようになれば、自然と全て上手くいくのではないだろうか。留学にはたくさんのチャンスが転がっている。それらをどのように使い、自分のものとして吸収できるか、とハングリーに過ごせた事が自分が留学生生活を満足して終えられた一番の理由だろう。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年2月22日

所 属	経済学部 () 研究科	現代ビジネス学科・専攻	4 年次
派遣先大学	クラウスタール工科大学		11 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	(キッチン、トイレ共有) (20人前後、ヨーロッパからの学生が多い。)
3	入居時手続き	(専用フォームからアクセス)
4	費用(月額)	250(ユーロ)(食費含まない/月)
5	支払方法	毎月引き落とし
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	(徒歩10分の距離に大きなスーパー、20分でバス停)
9	アクセス	(大学まで徒歩20分)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(共用の寮がオススメ。友達を作りやすいから。)
11	引越された方は引越し先の住居形態を記入ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参しなかった
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(現地のvodafoneで購入)

4	自宅のインターネット 接続環境	無線（大学または寮への LAN 接続）
5	大学内インターネット 接続環境	無線（大学または寮への LAN 接続）

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）		
1	宿舍費	250（ユーロ）/月
2	食費	100（ユーロ）/月
3	交通費	30（ユーロ）/月
4	通信費	10（ユーロ）/月
5	娯楽費	50（ユーロ）/月
6	図書費	10（ユーロ）/合計
7	学用品（教科書など）	30（ユーロ）/合計
8	被服費	300（ユーロ）/合計
9	医療費	100（ユーロ）/合計
10	雑費・その他	300（ユーロ）/合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）		
11	出願料・宿舍デポジット	300（ユーロ）/合計
12	ビザ申請関連費	100（ユーロ）/合計
13	航空券代 （休暇時旅行費用は除く）	1400（ユーロ）/往復
14	その他	300（ユーロ）/合計
15	留学全日程に要した総額（概算）	3280（ユーロ）/合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：100000円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名：SMBC） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
17	現地で銀行口座開設	した
18	手続き方法・利点・欠点	現地の銀行にて開設、寮の支払いに必要
19	お金に関するアドバイス	国際キャッシュカードを作っておくこと

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類¥	B19 (11か月分で120000円)
---	----------------	------------------------

2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	はい
3	海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	受けた
4	どのような方法で適用を受けましたか？	立替の上、後日返金 その他（ ）
5	日本から持参した方が良かったなと思う薬などがありますか？理由はなんですか？	葛根湯

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 服、パソコンなど
2	現地で購入したもの 毛布、ドライヤーなど
3	（自分は持っていかなかったが）日本から持っていったら便利だと思ったもの 多少の日本食

VI. 留学先で困ったこと

共同生活の中で、生活感の違いからの問題

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

消極的にならないこと